

事業概要	開放型小水力発電システムWater Weco®製造	
部署	営業企画(部長) 故引 浩孝	
所在地	〒702-8021 岡山県岡山市南区福田174	
連絡先	(電話番号)086-264-8080 (E-mail)info@elis.tv	
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	再生可能エネルギーを利用して、電気製品を利用することで、域内の脱炭素化を推進し、持続可能で、経済循環を実現する。	
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	脱炭素
	自社製水力発電装置で小型EVをシェアしている。 (※事業主体は津山市、弊社は発電事業者)	
<p>弊社は小型の水力発電装置の研究開発を行っている。 具体的にはほぼ無人で稼働できるシステムを開発している。 なぜなら、20kW以下(電気事業法規制考慮)の装置は許認可にかかるコストが現行法では掛かりすぎる。 そこで、Water Weco®のような塵芥装置無しで設置出来る装置こそが汎用性高いと思考した。なぜなら、塵芥対策がほぼ不要な装置だからである。</p> <p>実際に装置を設置している津山市様によると加茂町桑原の黒木キャンプ場はメンテナンス、つまり夜間のキャンプ場利用者の安全確保のため毎日夜間巡回している。その際に子どもたちの睡眠環境が損なわれないように、静かに巡回できる移動手段を模索していた。そこで、小型EVが理想的だという結論に至った。理由は、電気なのでエンジンのような大きな音がしない、電気なので、ガソリンのように給油に半日かけることもない(コンセントがあれば十分)とのことであった。</p>		

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

その場所には豊富な水が24時間流れており、脱炭素的な価値観が浸透していないけれども、地産地消のエネルギー利用のポテンシャルは高いと考えた。

そこで津山市と農協に話をしたところやってみようという話になった。

将来的にはCP導入により、ガソリンスタンド過疎地域の一つともいえる津山市の脱炭素政策のモデルになると考えられる。実際、近隣の(近隣と言っても数キロ)ガソリンスタンドは廃業していきっており、ガソリンを入れる手間、そこまで行くのに排出するCO₂などを考慮すると、現実的ではない。

<https://waterweco.com/data/181/detail/>

(※津山市桑谷エリス発電所)

相対的に、人口減少が進む地域で脱炭素政策を両立することは、かなりの覚悟とゲームチェンジャーの活躍が不可欠である。例えば、職員が少ない自治体の施設は豪華な建物であったりする。そのような地域には自然エネルギーが豊富に存在する。そのエネルギー資源を利活用することは持続的な経済循環が出来る(化石燃料は年間20兆円以上とも言われ、ドイツの倍)G7最大であるため、国富流出も回避でき、分散型エネルギーなので、災害時の利用も可能で、当然カーボンは大きく減らせる。

URL [【ご報告】「津山市桑谷エリス発電所」落成式|小水力発電システム | Water Weco](https://waterweco.com/data/181/detail/)
<https://waterweco.com/data/181/detail/>

上記ソリューションを提供できる地域について

全世界

自者の特徴	弊社の小水力発電は今までになかったアイコンックな羽根車で、水の表層部分を有効に電力エネルギーに変えることが出来、高効率かつ、ほぼメンテナンスフリーを実現した。他の装置に関しては、例えば設置場所に関しては、急流工や、落差工に設置する場合、堰をしないと設置出来なかったが、弊社の装置は水の表層部分を有効に利用できるため、水の速度エネルギーを有効に利用でき、溢水のリスクが非常に少ない。また、マス類など遡上する性質の魚類の生息環境も守ることができる。
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	製品の認知度を高めたい。